

令和6年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特7		学校名	県立水戸飯富特別支援学校										学校長名	高星 寛咲			
副校長名	栗木 理伸					教頭名	江幡 覚					事務(室)長名	小河原 道子					
教職員数	教諭	96	養護教諭	3	栄養教諭	1	常勤講師	16	非常勤講師	2	実習助手	2	事務職員	3	技術職員等	13	計	140
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数		
	幼稚部	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
	小学部	11	4	13	5	14	5	11	8	13	1	23	2	85	25	24		
	中学部	23	5	18	5	13	8	/	/	/	/	/	/	54	18	16		
	高等部	16	10	26	7	15	12	/	/	/	/	/	/	57	29	15		
	専攻科	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
													計	196	72	55		

2 目指す学校像

- ◆ 朗らかで楽しい学校
- ◆ 穏やかで安心できる学校
- ◆ 和やかで信頼される学校

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む)

項目	現状分析	課題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・校長がリーダーシップをとり部主事を対象とした研修を行ったり、職員による相互授業参観を行ったりして、組織的な授業改善を図ることができた。 ・校舎内外の整理・整頓・清掃を推進し、危険個所の発見と対応を行っている。 ・児童生徒に向けたシェイクアウト訓練は避難訓練等の防災訓練に加え、職員に対して防災研修や引き渡し訓練等を実施し、防災に対する意識の向上を図っている。 ・働き方改革に関しては、定時退勤日を毎週金曜日と第2第4火曜日に設定したり、長期休業中や出張時等に時差出勤を奨励したり、個別面談期間中に短縮日課(1時間繰り上げ下校)を実施したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成を目指す資質・能力の3つの柱に基づく目標設定と、3観点による評価について研修を進める ・児童生徒が安心して学べるような職員自身も含めた学習環境等の整備。 ・業務の分担の工夫や時間の有効活用、自身の仕事のマネジメント等の職員の意識改革。

学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導の充実を図り、育成を目指す資質・能力を育むために生活単元学習を小学部は生活科、中学部は理科と社会科に変更した。 ・特別活動について、今年度から小学部1～3年生の教育課程にも年間35時間設け、学校全体で学級活動の充実やキャリア・パスポートの活用を含めたキャリア教育の充実の実施を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科、理科、社会科の年會指導計画及び内容の充実。 ・特別活動における学級活動の位置づけの再確認と年間指導計画の充実。
------	---	---

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 人権を尊重し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた創意工夫ある教育の実現 2 安全・安心で信頼される教育環境と危機管理体制の整備 3 保護者や地域から信頼され、魅力ある開かれた学校づくりの実現

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
子どもの「探究心」を育む授業づくり	<ol style="list-style-type: none"> ①育成を目指す資質・能力（三つの柱）を踏まえた個別の指導計画の作成と学習評価 ②展開において児童生徒が考える活動の設定と学習の「まとめ」「振り返り」を大切にする授業 ③これまでの実践とICTを組み合わせた効果的な授業 ④授業改善を進めるための校内体制の整備と研修会の実施
自立と社会参加に向けた教育活動の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①「キャリア・パスポート」の活用と系統的なキャリア教育の推進 ②社会自立を目指し地域や保護者と連携した教育課程の編成と改善 ③地域資源や地域の施設等を活用した職業体験学習、人や社会とつながる学習の実践と充実 ④一人一人の「働く」意欲を高める授業の実践
健康で安全・安心な学校づくり	<ol style="list-style-type: none"> ①安心して学習や生活ができる教育環境の整備 ②ヒヤリハット事例の蓄積と共有、危機管理体制充実のための各種マニュアルの見直しと改善 ③いじめ・不登校・虐待等への予防的取り組みと組織的対応の充実 ④専門家や保護者と連携した食育・健康教育の推進
地域連携とセンター的機能の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①特別支援教育推進体制充実事業を活用し大洗町教育委員会との連携 ②学校間、学校と地域のつながり、互いの学び合いをたいせつにした交流及び共同学習の推進 ③電話相談及び来校相談、巡回相談の充実と保護者及び地域関係機関との連携強化 ④本校教育活動の積極的な発信
働き方改革の推進	<ol style="list-style-type: none"> ①風通しのよい職場作り（互いを認め合う、感謝の気持ち、あいさつ、報告・連絡・相談できる関係性） ②服務規律の遵守とコンプライアンス意識の醸成（自分事として考えられること） ③業務内容の改善（学校行事・校務内容の見直し会議の効率化の推進等） ④時間の使い方への意識改革、勤務時間の適正管理